

令和5年度 全国乳児福祉協議会 事業報告

【重点方針】

1. 「乳幼児総合支援センター」の具現化と関係者への理解促進

- ・「乳幼児総合支援センター」の実現に向けた考え方の組織内外への周知、理解促進
- ・国における施設の機能・役割と人員配置基準、それらを支える措置費のあり方検討への対応
- ・市町村等との連携による地域の子育て家庭・妊産婦支援の推進

2. 乳児院における子どもの権利擁護の取り組み

- ・子どもの権利条約、こども基本法の理解促進
- ・被措置児童等虐待への対応強化
- ・子どもを主体とした養育の振り返りのための自己点検のあり方検討

3. 乳児院における養育の質の向上・支援の充実

- ・養育・支援の専門性向上のための研修など人材育成の取り組み
- ・処遇改善に向けた取り組み
- ・人材確保・育成・定着の取り組み
- ・乳児院養育指針の改訂

【総括】

令和5年度は国において改正児童福祉法の施行にむけた各事業の実施要綱やガイドラインの検討および次期社会的養育推進計画の策定要領の検討が行われた。

このような状況の中、全乳協では、社会的養育・家庭支援部会やこども家庭庁が令和5年度に行った調査研究事業に本会役員が参画し、重点方針である「乳幼児総合支援センター」の具現化と関係者への理解促進をめざし乳児院の実態をふまえた意見出し等を行った。

特に社会的養育推進計画策定要領に対しては、全養協・全母協とも協力し意見書を計3回、こども家庭庁支援局家庭福祉課に提出するとともに、意見交換を行った。

また、「乳児院における子どもの権利擁護の取り組み」では、開催したすべての研修会において関連プログラムを実施するとともに、乳児保育の年間テーマとして様々な角度から乳幼児期の子どもの権利についてご寄稿いただいた。

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震を受け、1月4日に臨時の拡大正副会長会議を開催し、乳児院等に発生した支援ニーズへの対応や被害の復旧等に活用するための支援金の募集を行い、全国から3,831,967円が寄せられた。

【事業内容】

《諸会議の開催》

※（ ）内は開催回数

1. 協議員総会（1回）

第1回 令和5年5月24日（水）

- ・令和4年度事業報告(案)について
- ・令和4年度決算について
- ・令和5年度事業計画(案)について
- ・令和5年度予算(案)について
- ・令和5年度・令和6年度役員選出について

2. 常任協議員会（3回）

第1回 令和5年5月10日（水）

- ・令和4年度全乳協事業報告（案）・決算について
- ・令和5年度協議員総会の進め方（案）について
- ・令和6年度全乳協政府予算要望について

第2回 令和5年12月26日（火）

- ・(行政説明) 令和6年度予算および次期都道府県社会的養育推進計画策定要領案について
- ・全乳協事業の進捗について
- ・各ブロックからの報告・共有事項について

第3回 令和6年2月14日（水）

- ・令和5年度全乳協事業進捗状況・決算見込について
- ・令和6年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・令和6年度協議員総会等の開催予定について
- ・令和7年度全乳協政府予算要望について

3. 拡大正副会長会議（7回）

第1回 令和5年5月10日（水）

- ・常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和5年度第1回）の進め方について
- ・令和4年度全乳協事業報告（案）・決算について
- ・令和5年度協議員総会の進め方（案）について
- ・令和6年度全乳協政府予算要望について

第2回 令和5年5月24日（水）

- ・令和5・6年度役員等体制について
- ・令和5・6年度常設委員会委員について
- ・令和5・6年度全乳協等委員について

第3回 令和5年6月7日（水）

- ・乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・令和5年度事業の進め方について
- ・その他

第4回 令和5年8月17日（木）

- ・乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・令和5年度委員会事業の進捗について
- ・特別委員会の進め方について
- ・第72回全国乳児院協議会について
- ・その他

第5回 令和5年12月26日（火）

- ・常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和5年度第2回）の進め方について
- ・令和5年度全乳協事業進捗状況について
- ・令和6年度事業計画・重点事項等について
- ・令和7年度全乳協政府予算要望について

臨時 令和6年1月4日（金）

- ・令和6年能登半島地震による被害の状況等について
- ・これまでの取り組みについて
- ・今後の支援の取り組みについて
- ・「支援金」の募集について

第6回 令和6年1月26日（金）

- ・乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・令和6年度全乳協事業計画（案）について
- ・全乳協で実施する要望事項について

第7回 令和6年2月13日（火）

- ・ 常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和5年度第3回）の進め方について
- ・ 令和5年度全乳協事業進捗状況・決算見込について
- ・ 令和6年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・ 令和6年度協議員総会等の開催予定について
- ・ 令和7年度全乳協政府予算要望について

4. ブロック協議会会長会議（必要に応じ、常任協議員会と合同開催）

第1回 令和5年5月10日（水）

- ・ 令和4年度ブロック活動助成金使途報告について
- ・ その他、各ブロックにおける今後の活動予定や共有すべき課題等について

第2回 令和5年12月26日（火）

- ・ 各ブロックからの報告・共有事項について

第3回 令和6年2月14日（水）

- ・ 各ブロックにおける今後の活動予定や共有すべき課題等について

5. 監査会（1回）

令和5年5月16日（火）

- ・ 令和4年度 全国乳児福祉協議会事業報告（案）について
- ・ 令和4年度 全国乳児福祉協議会決算について
- ・ 令和5年度協議員総会における監事監査報告について

6. 総務委員会（4回）

第1回 令和5年7月21日（金）

- ・ 令和5年度総務委員会事業の進め方について
- ・ 第72回全国乳児院協議会（令和5年度・長崎県）の企画について
- ・ 令和5年度全乳協「永年勤続者表彰」の決定について
- ・ 乳児院における安全計画の策定の義務化等への対応について
- ・ 全乳協における「被措置児童等虐待への対応強化」の取り組みについて
- ・ 「乳児院の仕事PRのためのDVD」短縮版について

第2回 令和5年9月8日（金）

- ・第72回全国乳児院協議会（令和5年度・長崎県）の運営について
- ・乳児院における子どもの権利擁護の取り組みについて

第3回 令和6年1月31日（水）

- ・令和5年度全乳協事業進捗状況について
- ・令和6年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・第73回全国乳児院協議会（秋田県）の企画について

第4回令和6年3月11日（月）

- ・令和6年能登半島地震にともなう「支援金」の取り扱いについて

7. 制度対策研究委員会（3回）

第1回 令和5年8月29日（火）

- ・令和5年度制度対策研究委員会事業の進め方について
- ・令和5年度事業について
- ・乳児院（全乳協）をめぐる課題と対応・取り組みについて

第2回 令和5年12月21日（木）

- ・令和5年度全国乳児院入所状況実態調査について
- ・乳児院（全乳協）をめぐる課題と対応・取り組みについて
- ・令和7年度全乳協政府予算要望について

第3回 令和6年1月10日（水）

- ・令和7年度政府予算要望について
- ・令和6年度制度対策研究委員会の事業計画について
- ・その他

8. 広報・研修委員会（3回）

第1回 令和5年6月29日（木）

- ・令和5年度広報・研修委員会事業の進め方について
- ・第66回全国乳児院研修会の運営等について
- ・「乳児保育」№.198・199（令和5年度）の企画について
- ・第12回乳児院上級職員セミナーおよび第5回乳児院医療・看護セミナーの企画について

第2回 令和5年11月24日（金）

- ・第12回乳児院上級職員セミナーおよび第5回乳児院医療・看護セミナーの企画について
- ・「乳児保育」No.199（令和5年度）の企画について
- ・第67回全国乳児院研修会について
- ・「赤ちゃんいのちかがやいて」の改訂について
- ・乳児院養育指針の改訂について

第3回 令和6年1月16日（火）

- ・第12回乳児院上級職員セミナー、第5回乳児院医療・看護セミナーの運営について
- ・「赤ちゃんいのちかがやいて」の改訂について
- ・令和6年度広報・研修委員会事業について
- ・第67回全国乳児院研修会プログラムについて
- ・その他

《総務活動》

1. 乳児院における子どもの権利擁護の取り組み

(1) 子どもの権利条約、こども基本法の理解促進にむけた取り組み

- 第66回全国乳児院研修会の第1分科会において原田・高橋法律事務所の高橋弁護士より「子どもの権利擁護の意識をどのようにチームとして共有するか」をテーマとして法律の基本から理解を深めた。
- 「乳児保育」の年間特集テーマを「乳幼児のアドボケイト」とし、No.198では大分大学の栄留氏に「乳幼児の声を聴く」をテーマにこども基本法等の法律の説明や現場におけるアドボケイトの実践についてご寄稿いただいた。No.199ではNPO法人にじいるCAPの重永氏に「乳児院における子どもアドボカシー」についてご寄稿いただいた。
- 第72回全国乳児院協議会において「子どもの権利条約と児童福祉における子どもの権利保障と救済」をテーマとしてくれたけ法律事務所の池田弁護士による講演を行い、人権保障の観点から理解を深めた。

(2) 被措置児童等虐待への対応強化

- 「被措置児童等虐待及び児童養護施設等被措置児童等に係る重大事案の把握・検証等のあり方に関する調査研究」に柴崎副会長が参画した。

(3) 子どもを主体とした養育の振り返りのための自己点検のあり方検討

- 総務委員会において、各施設における全乳協の権利擁護関係資料を活用した自己点検の取り組みや、不適切養育となる可能性が高い状況を職員間で共有する手法について情報共有を行った。次年度に集めた情報等をまとめた冊子を作成し情報提供を行うこととした。

2. 乳児院における養育の質の向上と支援の充実に向けた振り返り

(1) 『乳児院における養育の質の向上と支援の充実』を実現するための行動方針』を踏まえた取り組みの促進

- 全社協福祉ビジョン 2020 検証準備委員会に横川副会長が参画するとともに、第2回準備委員会において全乳協での取り組みに関するヒアリングに対応した。

(2) 養育・支援の振り返り体制等の強化（自己評価、第三者評価事業の活用による養育・支援の質の向上）

- 令和5年度社会的養護関係施設 第三者評価事業「評価調査者」養成研修会において「乳児院の現状と今後のあり方」について栗延副会長が講義を行った。

(3) 乳児院における安全計画の策定の義務化等への対応

- 令和6年4月施行の乳児院における安全計画の策定の義務化や業務継続計画の策定の努力義務化等の省令改正を踏まえ、安全計画の策定にかかる各種ひな型を全乳協ホームページの会員専用ページにて公開した。
 - ・安全計画マニュアル（Word）
 - ・施設整備の安全点検表他（例）（Excel）
 - ・年間計画表（例）（Excel）
- 第72回全国乳児院協議会において、乳児院における「安全計画策定」と「業務継続ガイドライン」について柴崎副会長より説明を行った。

3. 組織活動と連絡調整

(1) 全乳協事業の進め方の検討

(2) 運営内規、諸規則の管理

- 運営内規、諸規則に基づき協議会運営を行った。

(3) ブロック協議会活動への助成、情報提供等協力

- 「ブロック協議会助成金規則」に基づき、令和5年6月、6ブロックに対し計1,661,000円を助成した。
- ブロック協議会会長会議等により、各ブロック協議会との情報共有を図った。
- 令和6年能登半島地震にともない乳児院等に発生した支援ニーズへの対応や被害の復旧等に活用するための支援金の募集を行い、3,831,967円が寄せられた。
- 令和6年1月15日(月)に令和6年能登半島地震で被災したななお乳児園(石川県七尾市)を訪問し、発災時の状況や現状の課題などを聞き取るとともに、災害見舞金規則に基づき10万円の見舞金を渡した。

(4) 乳児院における人材確保・育成・定着にむけた取り組みの検討

(5) 寄贈・寄付の調整・受け入れ等、企業等による社会貢献活動に対する協力

- 公益財団法人資生堂子ども財団が実施する資生堂児童福祉海外研修への乳児院職員の派遣調整を行った。(毎年継続)
- 日本ベビーフード協議会から全国の乳児院へのベビーフード寄贈の受け入れ調整を行った。(毎年継続)
- 明治ホールディングス株式会社から全国の乳児院へのミルク寄贈の受け入れ調整を行った。(毎年継続)
- アマゾンジャパン合同会社と「乳児院支援プログラム」を立ち上げ、66施設の参加調整を行った。(新規)

(6) 乳児院への各種助成事業への対応

- 株式会社ジェイ・ストームの寄付による「幼い子どものゆたかな育ち応援助成(七五三のお祝い助成)」の実施協力を行った。(毎年継続)

(7) 全乳協要覧の作成、配布

- 令和5年9月に会員施設およびこども家庭庁等関係機関に配布した。

(8) 全社協・退所児童等支援事業への参画

- 全国退所児童等支援事業連絡会に内藤総務委員長が参画し、オンラインサロン事業等への協力を行った。
- ・ 第1回：ライブ配信 11月20日(月) / オンライン配信 11月28日(火) ~ 12月5日(火)
参加者：249名(うち乳児院参加者9名)

- ・ 第2回：ライブ配信 12月8日（金）/アーカイブ配信 12月15日（金）～12月22日（金）
全体参加者：259名（うち乳児院参加者79名）
- ・ 第3回：ライブ配信1月18日（木）/アーカイブ配信1月25日（木）～2月1日（木）
全体参加者：124名（うち乳児院参加者9名）
- 第2回オンラインサロン（令和5年12月8日）において「施設間の措置変更・家庭復帰の支援と課題を考える」をテーマとした大阪水上隣保館乳児院からの実践報告の調整を行った。

4. 「第72回全国乳児院協議会」（大会）の企画内容の検討と実施、参加促進

- 会 場：ホテルニュー長崎（長崎県長崎市）
- 期 日：令和5年10月5日（木）～10月6日（金）
- 参加者：239名（定員200名）参加費：18,000円
- プログラム概要：
 - ・ 全国乳児福祉協議会会長表彰（永年勤続者）
 - ・ 基調報告（全乳協・平田会長）
 - ・ シンポジウム（こども家庭庁支援局・小松家庭福祉課長、武蔵野大学・中板氏、全乳協・横川副会長）
 - ・ 特別講演『家族史的視点から見たシーボルトとその家族』（長崎純心大学・宮坂氏）
 - ・ 講演『子どもの権利条約と児童福祉における子どもの権利保障と救済』（くれたけ法律事務所・池田氏）

5. 令和5年度全乳協会長表彰（永年勤続者）の実施

- 第72回全国乳児院協議会において、乳児院職員53名への永年勤続者表彰を実施した。

《制度対策研究活動》

1. 「乳幼児総合支援センター」の具現化に向けた取り組み

(1) 特別委員会の設置、検討

- 会議開催日程
 - ・ 第1回：令和5年5月2日（火）
 - ・ 第2回：令和5年9月15日（金）
 - ・ 第3回：令和6年1月10日（水）
- 令和5年5月に「全国乳児福祉協議会 特別委員会 中間報告書」を発行し、協議員、会員施設およびこども家庭庁等の関係機関へ配布した。
- 「乳児保育」No. 198において増沢委員長より中間報告書についての解説をご寄稿いただいた。
- 第72回全国乳児院協議会において「乳幼児総合支援センターをめざして」をテーマにシンポジウムを行い、全乳協の考え方や具体的な取り組み等への理解促進を図った。

(2) 国における社会的養護関係施設のあり方検討等への対応

- 里親支援センター創設に伴う乳児院における対応や取り組み等に関する勉強会をこども家庭庁支援局家庭福祉課と3回行った。
- NTTデータが受託実施している「里親・ファミリーホーム・施設のあり方の検討に関する調査研究」ならびに「社会的養護関係施設等の経営実態及び施設等職員の勤務実態に関する調査研究」のワーキンググループに参画して各事業の内容に助言等を行った。

(3) 「乳幼児総合支援センター」に対する理解促進への取り組み

- 令和5年5月に「全国乳児福祉協議会 特別委員会 中間報告書」を発行し、協議員、会員施設およびこども家庭庁等の関係機関へ配布した。（再掲）
- 「乳児保育」No. 198において増沢委員長より中間報告書についての解説をご寄稿いただいた。（再掲）
- 第72回全国乳児院協議会において「乳幼児総合支援センターをめざして」をテーマにシンポジウムを行い、全乳協の考え方や具体的な取り組み等への理解促進を図った。（再掲）

2. 改正児童福祉法等への対応

- 令和5年9月15日に改正児童福祉法の施行にむけた懸念や課題等についてこども家庭庁支援局家庭福祉課との意見交換を行った。

- 令和5年10月12日に開催された「全社協福祉懇談会」に常任協議員が出席し、全養協・全母協と共同で「すべての子どもの健やかな育ちをまもるために～社会的養護関係施設に関する要望～」と全乳協独自で「改正児童福祉法の施行にあたって」の2つの要望を行った。

3. 都道府県社会的養育推進計画見直しに向けた取り組み

- 令和5年9月12日付に開催された第3回社会的養育・家庭支援部会において「次期都道府県社会的養育推進計画の策定にあたって」として全養協、全母協と共同で要望を行った。
- 令和5年11月30日付で、こども家庭庁支援局家庭福祉課に対し「都道府県社会的養育推進計画 策定要領(案)に関する意見書」を全養協と共同で意見を提出した。
- 令和6年3月13日付で、こども家庭庁支援局家庭福祉課に対し「都道府県社会的養育推進計画の策定要領について」として抗議文を全養協・全母協と共同で提出した。また同日、平田会長と横川副会長が家庭福祉課の鈴木課長補佐等と意見交換を行った。
- 令和6年3月14日(木)には、都道府県社会的養育推進計画策定要領について平田会長が小松家庭福祉課長と意見交換を行った。
- 推進計画策定に向けた都道府県への対応・働きかけに活用できる資料として全養協・全母協と共同で「都道府県社会的養育推進計画の策定要領への対応について」と社会的養護パンフレットを作成し、会員施設に配布するとともに全乳協ホームページの会員専用ページに公開した。
- 令和6年3月28日(木)～29日(金)平田会長が衆参国会議員を直接訪問し、現状と課題意識を伝えるとともに「各都道府県の検討において乳児院が参画できるよう働きかけてほしい」と要請した。

4. 調査研究の実施、公表、活用促進

(1) 「全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査」の実施

- 令和4年度の状況に関する調査について、新規入所児童と退所児童にかかる調査票を個票として見直し、令和5年6月に実施した。調査結果を取りまとめた報告書を令和5年10月に発行し、第72回全国乳児院協議会において配布した。

(2) その他必要に応じたデータ収集と関係調査への協力

- 「全国乳児院協議会 次期都道府県社会的養育推進計画の策定に向けた検討状況等に関する調査」を実施し、推進計画および要保護児童等対策地域協議会への参画状況等の調査を実施し、実態を把握した。(調査期間：8月4日～15日)

5. 政策・予算対策活動

(1) 令和6年度予算等要望の実施、翌年度予算要望の検討

- 令和5年5月24日付で、内閣府特命担当大臣に対し令和6年度全乳協政府予算要望を実施した。要望書はこども家庭庁支援局家庭福祉課に提出し、5月24日に意見交換を行った。
- 令和5年9月12日に開催された第3回社会的養育・家庭支援部会において「次期都道府県社会的養育推進計画の策定にあたって」として全養協、全母協と共同で要望を行った。
- 令和5年10月12日に開催された「全社協福祉懇談会」に常任協議員が出席し、全養協・全母協と共同で「すべての子どもの健やかな育ちをまもるために～社会的養護関係施設に関する要望～」と全乳協独自で「改正児童福祉法の施行にあたって」の要望を行った。(再掲)
- 令和5年11月30日付で、こども家庭庁支援局家庭福祉課に対し「都道府県社会的養育推進計画 策定要領(案)に関する意見書」を全養協と共同で意見を提出した。(再掲)
- 令和6年度予算および次期都道府県社会的養育推進計画策定要領について令和5年12月26日の常任協議員会で説明を受け、意見交換を行った。

(2) こども家庭審議会等への参画

- 社会的養育・家庭支援部会に横川副会長が参画し、乳児院の実態等をふまえた意見出し等を行った。
- こども家庭庁が行う以下6つの調査研究事業に役員が参画し、乳児院の実態等をふまえた意見出し等を実施した。
 - ・ 令和5年度社会的養護経験者等ネットワーク形成事業に係る特別養子縁組全国フォーラム実行委員会 (軀川 恒 常任協議員)
 - ・ 『被措置児童等虐待及び児童養護施設等被措置児童等に係る重大事案の把握・検証等のあり方に関する調査研究』検討委員会 (柴崎 順三 副会長)
 - ・ 「里親・ファミリーホーム・施設のあり方に関する調査研究事業」検討ワーキンググループ (田中 智裕 制度対策研究委員会 副委員長)
 - ・ 「社会的養護関係施設等の経営実態及び施設等職員の勤務実態に関する調査研究事業」検討ワーキンググループ (田中 智裕 制度対策研究委員会 副委員長)
 - ・ こども家庭ソーシャルワーカー(仮)の施行に向けた具体的運用に関する調査研究 (都留 和光 広報・研修委員長)
 - ・ 児童養護施設等のICT化による効果的な事務処理のための調査研究 (康保会玉淀園 山中 孝一郎 氏)

(3) 全社協・政策委員会、社会福祉施設等協議会連絡会等への参画

- 全社協の各種委員会等に役員が参画し、社会福祉をめぐる諸課題について関係種別協議会との協議を行った。(17 ページ参照)

《広報・研修活動》

1. 養育の質の向上等のための人材育成等の取り組みの強化

(1) 「乳児院養育指針」の改訂および普及と活用促進

- 第5版の発行について総会および各施設宛文書にて周知を行い、2,172部を頒布した。
- 「第6版」の発刊は、令和6年4月に改正児童福祉法が施行されること、また、令和6年度には各都道府県において次期都道府県社会的養育推進計画の策定に向けた検討が行われること等を踏まえ、次年度以降も引き続き検討を進めることとした。

(2) 研修小冊子の普及による各地での研修実施の働きかけ

2. 養育・支援の専門性、子どもの権利擁護のための研修会等の開催

- 社会的養護処遇改善加算の対象研修の要件とともに感染防止対策の徹底を念頭に企画、開催し、職員の養育・支援の専門性、権利擁護意識の向上を図った。

(1) 「第66回全国乳児院研修会」の開催

- 会場：ひだホテルプラザ（岐阜県高山市）
- 期 日：令和5年7月6日（木）～7日（金）
- 参加者：252名（定員200名）参加費：18,000円
- プログラム概要：
 - ・ 基調報告（全乳協・平田会長）
 - ・ 講演「多職種によるアセスメントをどう活かすか」（子どもの虹情報研修センター 増沢 氏）
 - ・ 特別講演「保育者によりそうベビーダンス」（日本ベビーダンス協会認定インストラクター 川瀬 氏）
 - ・ 実践報告・研究発表
 - ・ 「第47回（2022年度）資生堂児童福祉海外研修報告」（白百合ベビーホーム 神保 氏）

- ・ 「子どもの権利擁護について～こどものけんりの一と～」(衆善会乳児院 久納氏、玉葉会乳児院 天野氏)
- ・ 「丘の家乳幼児ホームにおけるショートステイ・一時保護受け入れについての現状と課題」(丘の家乳幼児ホーム 土田氏)
- ・ 分科会
- ・ 第1分科会「子どもの権利擁護の意識をどのようにチームとして共有するか」(原田・高橋法律事務所 高橋氏)
- ・ 第2分科会「乳児院における養育の質の向上とチーム養育」(十文字学園女子大学 潮谷氏)
- ・ 第3分科会「ショートステイと一時保護をどのように運用するか～地域サービスの展開に向けて～」(子どもの虹情報研修センター 増沢氏)

(2)「第12回乳児院上級職員セミナー」の開催

- 会場：全社協・灘尾ホール（東京都千代田区）
- 期 日：令和6年2月27日（火）～28日（水）
- 参加者：100名（定員150名） 参加費：15,000円
- プログラム概要：
 - ・ 基調報告
 - ・ 講義・グループ討議「乳幼児のアドボケイト」(作新学院大学女子短期大学部 坪井氏)
 - ・ 講義「乳児院に求められる里親支援」(NPO法人キアセット 渡邊氏)
 - ・ 講義・演習「上級職員に求められるチームアプローチ、スーパービジョン」(十文字学園女子大学 潮谷氏)

(3)「第5回乳児院医療・看護セミナー」の開催

- 会場：全社協・灘尾ホール（東京都千代田区）
- 期 日：令和6年2月29日（木）
- 参加者119名（定員150名） 参加費：10,000円
- プログラム概要：
 - ・ 講義「乳児院における感染症対応」(全乳協・大和副会長)
 - ・ 質疑応答（全乳協・大和副会長）
 - ・ 講義「発達に課題のある子どもへの対応」(こどもの心のケアハウス 嵐山学園 早川氏)
 - ・ 演習「各乳児院における医療的ケア児の受け入れ」(ファシリテーター 全乳協・大和副会長、今井こどもクリニック 今井氏)

(4) 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会の共催

- 動画視聴によるオンラインで実施した。
- 動画配信期間：令和5年12月11日（月）～22日（金）
- 受講者：608名（うち乳児院受講者89名）

(5) ファミリーソーシャルワーク研修会の共催

- 会場：中央福祉学院（ロフォス湘南）
- 期日：令和5年9月6日（水）～7日（木）、令和5年10月22日（日）～23日（月）
- 受講者：353名（うち乳児院受講者81名）

(6) 「子どもの虹情報研修センター」研修事業への協力

- 都留広報・研修委員長が参画し、事業の企画・運営に協力するなど連携を図った。

(7) 「西日本こども研修センターあかし」研修事業への協力

- 栗延副会長が参画し、事業の企画・運営に協力するなど連携を図った。

3. その他、乳児院に関する広報・啓発活動

(1) 機関誌「乳児保育」の作成と頒布普及（全施設対象／年2回／有償頒布あり）

- 「乳児保育」の年間特集テーマを「乳幼児のアドボケイト」とした。
- 令和5年11月にNo.198を発行した。こども基本法等の法律の説明や現場におけるアドボケイトの実践について大分大学の栄留氏にご寄稿いただいた。また、特別委員会の中間報告書について増沢委員長よりご寄稿いただいた。
- 令和6年3月にNo.199を発行した。子どもの権利をテーマに乳児院における子どもアドボカシーについてNPO法人にじいるCAPの重永氏にご寄稿いただいたほか、医療における子どもの権利や各乳児院での実践を取り上げた。

(2) 全乳協ホームページの管理運用

- 会員専用ページを活用し、会員施設等に向けた情報提供の充実を図った。

(3) 「全乳協ニュース」の発行（全施設対象／随時）

- 乳児院をめぐる情勢の動向や全乳協の対応・取り組みなどの情報を随時発信した（計12号発行）

(4) 「赤ちゃんいのち輝いて」の見直し

- 「赤ちゃんいのち輝いて」はパンフレットとして改訂し、全乳協ホームページに載せている乳児院の機能や役割等について盛り込んだ乳児院を1冊で理解できるものとした。電子媒体からダウンロードする形で配布する。

<全国乳児院協議会・全国乳児院研修会 開催地一覧>

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
協議会 (大会)	第 64 回 中国・四国 (高知県) *永年勤続者表彰	第 65 回 関東・甲信越静 (新潟県) *大臣表彰 *永年勤続者表彰	第 66 回 九州 (宮崎県) *永年勤続者表彰	第 67 回 東北・北海道 (北海道) *永年勤続者表彰	第 68 回 東海・北陸 (三重県) *永年勤続者表彰	第 69 回 近畿 (京都府) *永年勤続者表彰
研修会	第 58 回 東海・北陸 (石川県)	第 59 回 東北・北海道 (岩手県)	第 60 回 中国・四国 (鳥取県)	第 61 回 近畿 (和歌山県)	第 62 回 関東・甲信越静 (山梨県)	第 63 回 九州 (沖縄県)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
協議会 (大会)	(新型コロナウイルス感染症をめぐる状況から次年度に延期)	第 70 回 関東・甲信越静 (東京都) *大臣表彰 *永年勤続者表彰	第 71 回 中国・四国 (香川県) *永年勤続者表彰	第 72 回 九州 (長崎県) *永年勤続者表彰	第 73 回 東北・北海道 (秋田県) *永年勤続者表彰	第 74 回 東海・北陸 (富山県) *永年勤続者表彰
研修会		第 64 回 (オンライン)	第 65 回 (オンライン)	第 66 回 東海・北陸 (岐阜県)	第 67 回 近畿 (奈良県)	第 68 回

《児童福祉施設関係種別協議会との協働事業》

1. 児童福祉の課題や諸制度への対応
 - ・ 児童福祉関係種別協議会会長会議への参画と協働活動
 - ・ 必要に応じた合同会議の開催等
2. 社会的養護を支える施設長、職員のための研修
 - ・ 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会の共催
 - ・ ファミリーソーシャルワーク研修会の共催

《全国社会福祉協議会との連携》

1. 全社協／理事会（総務部）
2. 全社協／政策委員会（政策企画部）
3. 全社協／福祉サービスの質の向上推進委員会（政策企画部）
4. 全社協／社会福祉施設協議会連絡会（法人振興部）
5. 全社協／社会的養護を担う児童福祉施設長研修会（児童福祉部）
6. 全社協／ファミリーソーシャルワーク研修会企画委員会（中央福祉学院）
7. 全社協／福祉施設長専門講座運営委員会（中央福祉学院）
8. 全社協／国際社会福祉基金委員会（国際部）
9. 全社協／退所児童等支援事業（児童福祉部）

《他団体との連携》

1. 健やか親子 21 推進協議会
2. 社会福祉法人福利厚生センター
3. 社会福祉法人横浜博萌会／子どもの虹情報研修センター
4. 一般財団法人あかしこども財団／西日本こども研修センターあかし
5. 公益財団法人全国里親会
6. 特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

《こども家庭庁の審議会等》

1. こども家庭審議会